

平成28年度 取組内容について

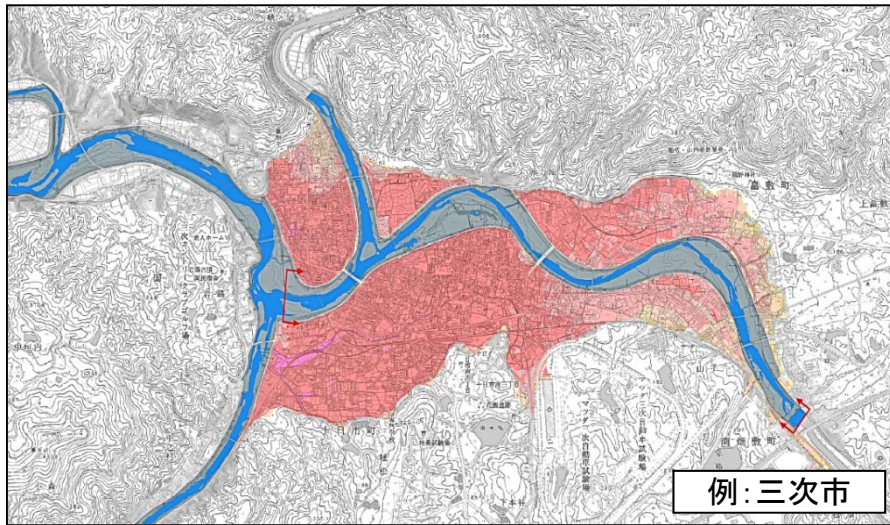
平成29年5月18日

江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会

〔 三次市・安芸高田市・広島県・広島地方気象台・、国土交通省中国地方整備局 〕

江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会 平成28年度取組み結果（その1）

○6月14日 浸水想定区域図公表(三次河川国道事務所)



○マスコミ報道等

平成28年6月14日(火) 「NHKニュース」 18:11~18:17

NHK（広島放送局）

【最大規模の洪水浸水区域など公表】

（アナ：男）去年の関東・東北豪雨では多くの建物が流されるなどの甚大な被害がでました。国は全国の河川を対象に最大規模の雨が降って、洪水が起きたことを前提に条件を変え、被害の想定をやり直しています。

（ナレ：男）中国地方整備局は三次市などを流れる江の川と大竹市などを流れる小瀬川について、結果を公表しました。三次市では、広い範囲で5m以上となり、最も深いところで10.9mの浸水となりました。更に、氾濫によって住宅が押し流される可能性が高い区域が初めて公表されました。川沿いで8.2平方キロがその可能性があると示されました。



毎日新聞（平成28年6月14日 朝刊）【2面】



○浸水想定区域内の要配慮者利用施設の抽出(水防法15条の4項)

・浸水想定区域内の施設数

		保育園	老人ホーム	病院	障害者利用施設	合計
三次市	計画規模	6	5	31	4	46
	想定最大	7	5	31	4	47
安芸高田市	計画規模	5	2	7	5	19
	想定最大	8	3	23	10	44

・地域防災計画書に掲載予定（平成29年度版）

江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会 平成28年度取組み結果（その2）

○ 水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設への説明会（広島県）

日時:2月22日(水)
 場所:三次市まちづくりセンター
 参加者:125施設



○H29年度 避難計画を作成する施設の選定

○三次市

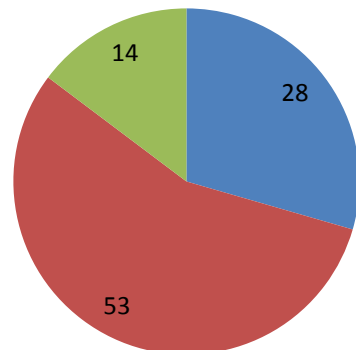
- ・老人ホーム施設と調整中。
- ・必要であることは認識されており、難形等により策定に向けた援助の実施
- ・職員を対象とした防災研修会への講師依頼などを希望されている。

○安芸高田市:

- ・民間経営の保育所と調整中。
- ・当施設周辺は、土砂災害の危険区域でもあるため、土砂災害にも対応した避難計画が必要。

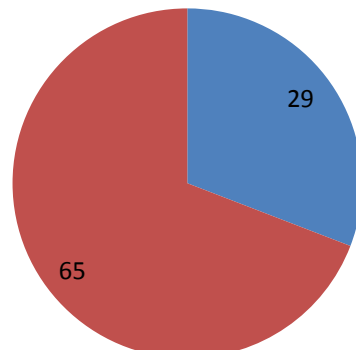
○水害に関する事項のアンケート結果(三次会場分抜粋)(アンケート回答数 98施設)

洪水危険性のある地域への立地



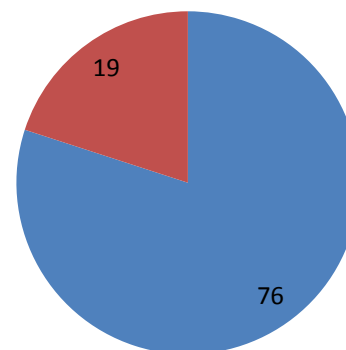
- 立地している
- 立地していない
- わからない

水害時の避難に関する計画



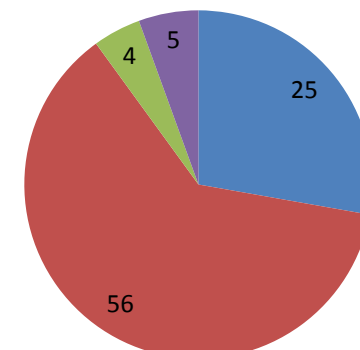
- ある
- ない

避難する場所



- 決まっている
- 決まっていない

避難準備情報が出たときの行動



- 要配慮者を避難所に誘導する
- 施設内にとどまり、その後の状況に注意する
- 1と2
- その他（隣接する施設へ移動、消防団員の指示にしたがって行動など）

※数値は回答施設数、未回答により合計が合わない場合がある

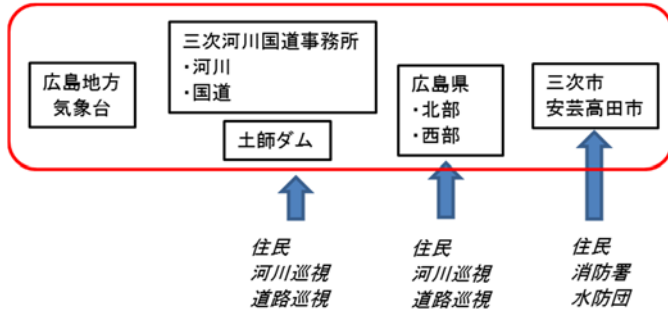
江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会 平成28年度取り組み結果（その3）

○ 関係機関の情報共有（メーリングリスト作成）

目的：内水・避難経路等の被災状況を迅速に情報共有

利点：関係機関及び危機管理部署や現場対応部署など、複数に同時に情報を共有できる。

情報共有のイメージ



配信先（案）

三次市危機管理課
安芸高田市危機管理課
広島県土木局道路河川管理課
広島地方気象台
土師ダム管理所
三次河川国道事務所

※当面は減災対策協議会のメンバーでの運用

○ 緊急速報メールを活用した住民への情報提供

江の川上流の緊急速報メール

国土交通省では、江の川上流（三次市・安芸高田市）にお住まいの皆様に対して、大規模な洪水が発生するおそれがある場合に住民の主体的な避難を促すため、災害福祉事業者【NTTドコモ・KDDI（au）・ソフトバンク（ワイモバイル含む）】が提供する「緊急速報メール」を活用した洪水情報の配信を平成29年5月1日から開始します。

【緊急速報メールによる洪水情報の配信対象エリア】

河川名	河川区画	配信対象地域
三次川	三次川上流	三次市 上流地区
	三次川中流	三次市 中流地区
	三次川下流	三次市 下流地区
三好川	三好川上流	三次市 三好川上流地区
	三好川中流	三次市 三好川中流地区
	三好川下流	三次市 三好川下流地区
三好川	三好川上流	三次市 三好川上流地区
	三好川中流	三次市 三好川中流地区
	三好川下流	三次市 三好川下流地区

三次市・安芸高田市全域に配信する経路あり
三次市全域に配信する経路あり

緊急速報メールが届くのは？

- 河川区画のおそれがある時
- 河川の水が堤防を越えて溢れ出ている時
- 堤防が壊れ河川の水が大量に溢れ出ている時

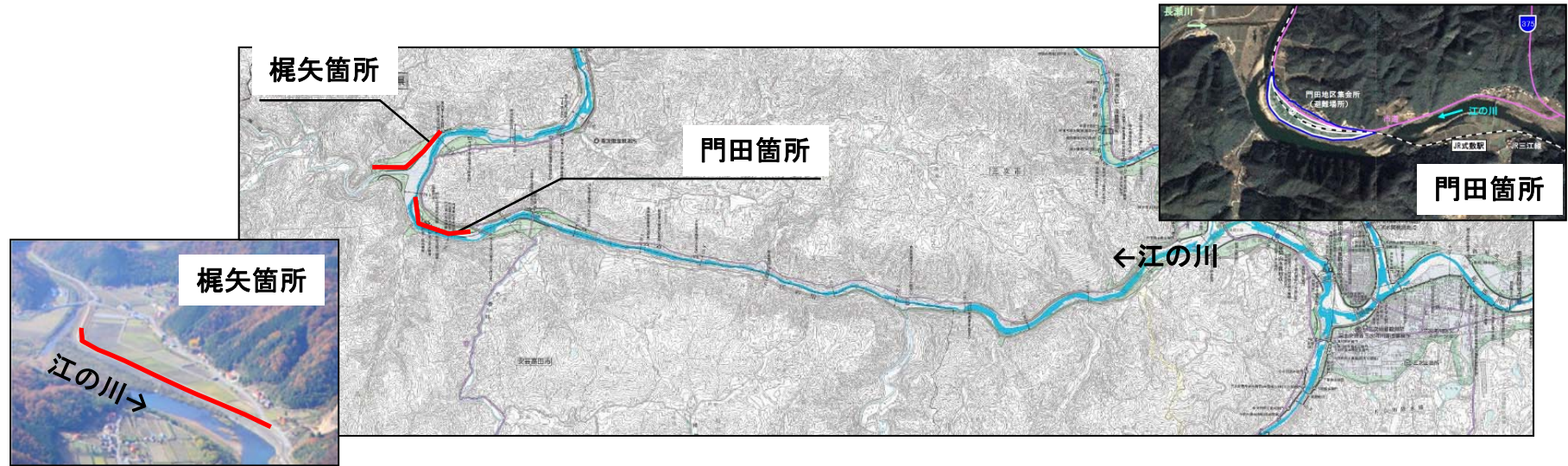
平成29年 5月1日開始

メールを見たら、命を守る行動を！！

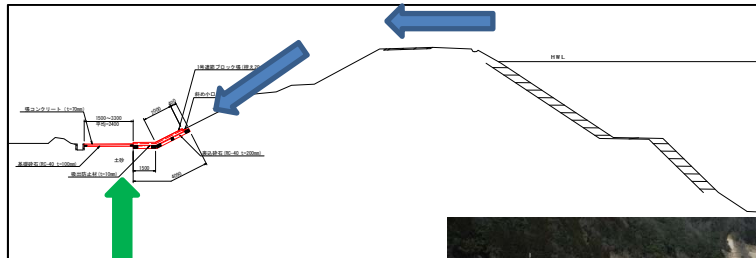
1. 出発危険水位に達した時
2. 河川の水が溢れた時
3. 堤防が決壊した時

問い合わせ先
国土交通省中国地方整備局 三次河川国道事務所河川管理課
TEL:0824-63-4121
URL: http://www.cnr.mlit.go.jp/miyoshi/kinkumai/ibex.html

江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会 平成28年度取組み結果 (その4)



- 堤防補強(三次河川国道事務所)
・安芸高田市梶矢地区



堤防を越水した氾濫水が
決壊までの時間を少しでも
引き延ばすような
堤防構造を工夫する対策



- 堤防整備(三次河川国道事務所)
・三次市門田地区



江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会 平成28年度取組み結果 (その5)

○内水対策勉強会

三次市 : 3月10日

安芸高田市 : 3月14日

内容: 排水路の整備による被害軽減
排水ポンプ車のカマ場等の整備など



○ 9月18日(台風16号)排水ポンプ車の配備



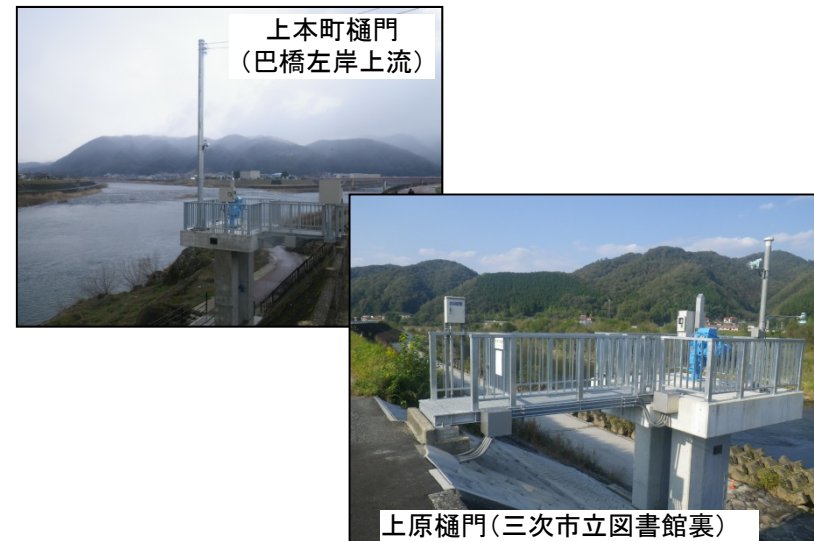
○ 排水ポンプ車カマ場等整備(三次河川国道事務所)

・安芸高田市1箇所(常友岩の城排水樋門)



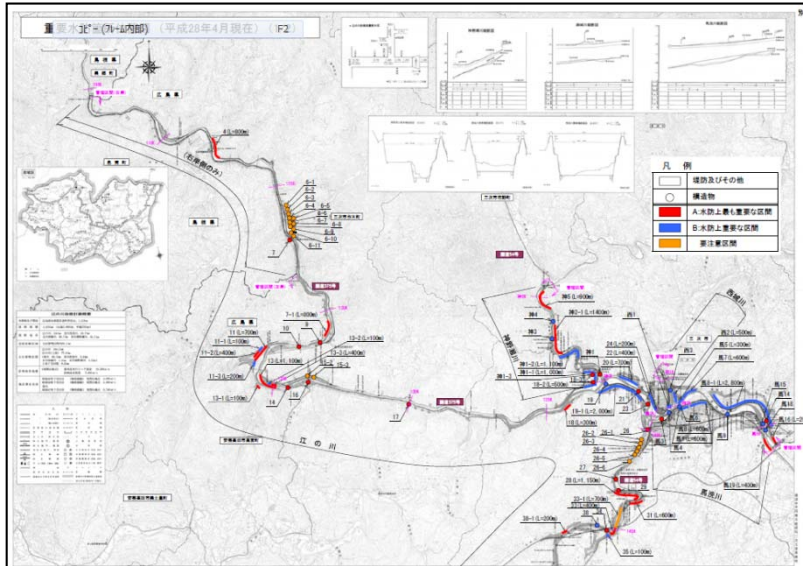
○ 樋門の電動化(三次河川国道事務所)

・三次市2箇所(上原、上本町排水樋門)



江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会 平成28年度取り組み結果 (その6)

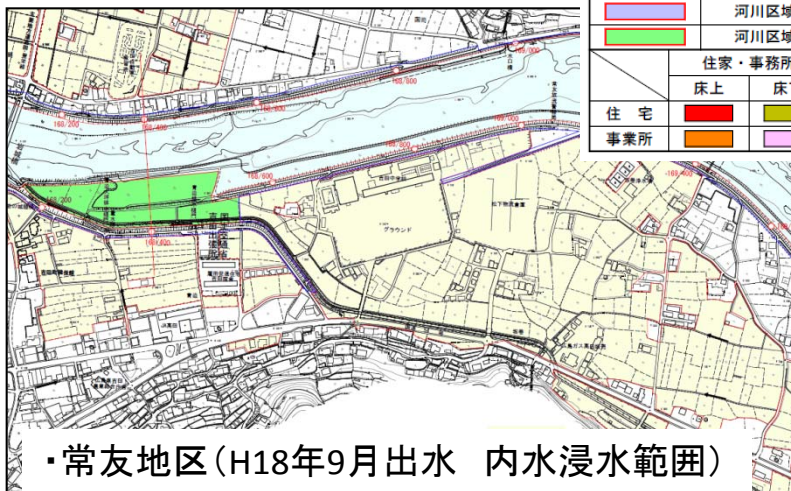
○重要水防箇所の情報共有



○水防資機材の情報共有



○過去の内水の浸水範囲 (H18・H22)



・常友地区 (H18年9月出水 内水浸水範囲)

○台風接近時の陸閘門の閉鎖

- ・台風接近時に事前に閉鎖する陸閘門: 21門



※台風接近時には、高水敷の占有者などにも注意喚起

江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会 平成28年度取組み結果（その7）【国土交通省】

	事例No	写真	タイトル	概要
江の川上流	1		三次市内で開催されるイベントにて、防災啓蒙活動を実施	三次市市内で開催された『三次納涼花火大会』及び『防災意識啓発フェア』において、降雨体験や災害対策車両の展示を行い、防災意識向上のための啓蒙活動を実施。
江の川上流	2		内水に関する出前講座、勉強会を実施	<p>三次市十日市自治防災会を対象に、『十日市きんさい学』と称した防災出前講座を実施した。</p> <p>また、江の川上流部における内水被害の減災を図るため、関係行政機関である三次市及び安芸高田市と内水対策勉強会を実施した。</p>
江の川上流	3		小学生を対象に川に関する出前講座を実施	<p>三次市立十日市小学校の4年生を対象に江の川・馬洗川に関する出前講座を実施した</p> <p>出前講座では、川の環境学習と合わせて、川の歴史や過去に実際に起きた洪水、洪水から生命・財産を守る施設（堤防や排水機場）などについて説明</p>

■三次市内で開催されるイベントにて、防災啓蒙活動を実施

・三次市市内で開催された『**三次納涼花火大会**』及び『**防災意識啓発フェア**』において、降雨体験や災害対策車両の展示を行い、防災意識向上のための啓蒙活動を実施。

○10月23日 防災意識啓発フェア(三次市)



○8月20日 防災広報(三次納涼花火大会)



(目的)

『三次市民納涼花火まつり』の来場者。特に児童をターゲットに降雨体験をしてもらうことで、降雨時の危険性や防災意識の啓蒙を行う。

(効果)

花火大会には多くの来場者(約5万人)があり、当事務所が観覧場所の中心に位置することから、河川事業をPRする絶好の機会となった。

江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会 平成28年度取組み結果（その7）【国土交通省】

■内水に関する出前講座、勉強会を実施

○防災出前講座(十日市自治防災会 約50名)

平成28年6月7日に、三次市十日市自治防災会を対象に、『十日市きんさい学』と称した防災出前講座を実施した。出前講座では、過去の洪水の状況の説明するとともに、普段は見ることが出来ない、国土交通省三次河川国道事務所が保有している災害対策車両や防災ステーション、十日市排水機場などの現場見学を行った。



十日市排水機場(現場見学)



防災ST(現場見学)

○内水対策勉強会

江の川上流部における内水被害の減災を図るため、関係行政機関が認識を共有し、減災対策について相互に連携を図り、それぞれが役割を持って被害の減少に向けた方策の検討と実施に向けた取り組みを行うことを目的に、三次市及び安芸高田市と内水対策勉強会を実施した。



江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会 平成28年度取組み結果（その7）【三次市】

○水害を想定した災害対策本部運営図上訓練

- ・開催日：平成28年6月6日
- ・場所：三次市役所 本館3階会議室（防災対策室）
- ・参加者：市職員（市長（災害対策本部長）含む） 33名



○三次市地域防災リーダー研修会

- ・開催日：平成28年10月15日
- ・場所：三次市役所 本館601, 602会議室
- ・参加者：自主防災組織役員等（市職員含む） 62名



○広島県防災リーダー研修会

- ・開催日：平成28年12月3日
- ・場所：みよしまちづくりセンター ペペらホール
- ・参加者：自主防災組織役員及び市内の防災士資格者 等 59名

○三次市防災士研修会

- ・開催日：平成29年2月12日
- ・場所：三次福祉保健センター ふれあいホール
- ・参加者：三次市内の防災士資格者 29名



江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会 平成28年度取組み結果（その7）【安芸高田市】

○市職員及び市議会議員を対象にした
想定最大規模の浸水想定に関する研修会

- ・開催日：平成28年8月30・31日
- ・場所：安芸高田市クリスタルアージュ
- ・参加者数：280名



○大規模災害を想定した災害対策本部運営図上訓練

- ・開催日：平成28年10月27日
- ・場所：安芸高田市クリスタルアージュ
- ・参加者：市職員（市長（災害対策本部長）含む） 57名



○外国人避難者を対象とした避難所運営訓練

- ・開催日：平成28年11月20日
- ・場所：安芸高田市クリスタルアージュ
- ・参加者：国際交流協会、社会福祉協議会、市職員ほか約80名
うち外国人約30名

